

KKT6推進キャラクターの制作支援



図 1 キャラクター制作風景



図 2 完成したキャラクター



図 3 試作した販促グッズ

【開発の背景】

笠間市では、特産である栗をブランド化し、新たな消費を拡大するため、生産者による産地 PR 組織である「KKT6 (かさまの栗つたえ隊)」を発足させました。

推進キャラクターの制作は、笠間高等学校美術科生徒が担当し、当所は、制作アドバイスをを行いました。併せて、これを利用した販促グッズの企画デザイン及び実用化に際しての先行調査や使用取扱規程についても支援しました。

【開発の経緯・支援内容】

1) キャラクターの制作

生徒が自発的にアイデア発想できるようファシリテーターを務め、延べ4回の座談会形式のワークショップで指標を示し、「身近である」、「ツッコミ所がある」、「元気である」、「楽しい」等のコンセプト発想を促し、プロフィール設定やキャラクター描画をアドバイスしました。(図1)

2) キャラクターの選考

選考会議での候補プレゼンテーションや選考ポイントの設定(①郷土愛やローカル性、②栗メッセージ性、③視覚的ユニークさ、④グッズへの展開等)、選考投票における加点式集計を提案し、事業コンセプトにふさわしいアイデアを導き出しました。(図2)

3) 販促グッズの企画デザイン

「栗産地PR」、「知名度向上」、「イベント利用」をコンセプトに販促グッズの企画デザインを行い、グッズの利用シーンを想定し、話題性や地域性、日常性といった観点から衣類、陶磁器、文具の3案を試作提案しました。(図3)

4) 実用化支援

産業財産権について先行調査を行い、キャラクター使用取扱規程における色や配色の定めについて CMYK カラーモデルを提案しました。

【開発品の紹介】

推進キャラクターは、8月29日に笠間市長室に於いてマスコミ発表され、販促グッズは、9月29～30日開催のかさま新栗まつりで展示発表しました。

現在、弁理士の助言を得ながら商標権申請手続きを進めており、商標権が登録され次第、販促グッズが製品化されることになっています。

○記事掲載：7/8 茨城新聞、8/30NHK 水戸放送局、9/2 茨城新聞